

## 経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例 — 令和3年度の取組 —

経営協議会の外部委員からいただいたご意見について、継続的に大学運営に活用しており、令和3年度においては、以下の取組を実施した。

### ① 増収に向けた取組

(意見) ネットワークやメディアの活用といった様々な方法で資金の積み上げが必要である旨の発言があった。(令和2年度第5回)(氏家委員)

#### ●TMDU サポートーズクラブの立ち上げ

寄附を促進するため、大学基金において、募金活動の推進母体となるTMDUサポートーズクラブを立ち上げた。同クラブでは卒業生だけでなく、支援者になりうる病院の元患者や有力寄附者を含めて組織を構築しており、令和3年度は4,208名が参加している。

### ②病院運営に関する取組

(意見) ICTによるリモート医療を取り入れることでより多くの方へ本学の医療を提供できるようにすることも、SDGs達成に向けた取組といえる旨の発言があった。(令和3年度第1回)(遠藤委員)

#### ●オンラインセカンド外来オピニオンの導入

オンラインセカンドオピニオン外来を令和3年度から開始した。これにより、コロナ禍にあっても、本学の持つエキスパートの知見を多くの患者へ提供可能となり、18件実施した。提供に至ってはオンライン診療・服薬指導システム「YaDoc Quick」を利用することで導入コストを抑え、対面のセカンドオピニオンと同額の診療費で実施可能とした。

(意見) 一体化により患者目線に立った診療が強化されることが最も重要であり、節約できた資源を研究開発や施設の拡充に充てることができればなお良いのではないかとの発言があった。(平成30年度第3回)(白石委員)

#### ●医学部附属病院と歯学部附属病院の一体化

医学部附属病院と歯学部附属病院との診療連携を最大化し、先進的かつ安全な医療を提供するために、令和3年10月に医学部附属病院と歯学部附属病院を「東京医科歯科大学病院」として一体化した。

#### ●「オーラルヘルスセンター」の設立

入院中の口腔問題の早期発見・早期介入により口腔由来の合併症を予防することで在院日数の短縮や、地域の歯科医療へ繋げることを目的とした「オーラルヘルスセンター」を設立して、全人的医療を行う診療体制の充実化を実施している。

### ③研究推進に関する取組

(意見) これからの医療はデータを中心に物を考えることも重要であるが、局所最適型から全体最適型の医療への転換、SDGs及びDXの推進に伴い、多様な分野間で関わり合いの基礎を作る必要がある(令和3年度第1回経営協議会)(遠藤委員)

#### ●学内スペースの活用

令和3年度よりTMDUイノベーションパーク(TIP)構想の一環として、学内スペースを産学連携にて有効活用する実証実験(共同研究)を開始した。この取組によるオープンラボの貸付単価はTIP会員サービスを含めているため、通常のオープンラボ貸付単価の1.5倍を設定しており、令和4年3月末時点で2社のベンチャー企業の入居が決まった(計3室、134㎡)(ほか、6社とは入居交渉中)。

M&Dタワー26階ファカルティラウンジを使って、部局を横断した研究者が対面で議論するイベントを毎月開催することにした(第1回は令和4年5月25日)。

#### ●青い鳥プロジェクト

学長発案の学内の異分野融合研究を推進する「青い鳥プロジェクト」のもと、広報部と統合研究機構とが連携し、学内共同研究相手を探す(幸せの青い鳥を探す)分野紹介動画Webページ「レッツ!学内共同研究」を令和4年2月に公開した。

#### ●M&Dデータ科学センター

Society5.0時代の新しい医歯学研究・教育及び医療を推進するために、令和2年4月に「M&Dデータ科学センター」を設置した。同センターでは、医療データ解析等の学内共同研究や、全国展開している「コロナ制圧タスクフォース」での学外共同研究を実施するとともに、附属病院の医療情報などのビッグデータにアクセスし解析する体制を構築している。

### ④教育に関する取組

(意見) リカレント教育として、企業の方が受講できるように検討していただきたい旨の発言があった。(令和2年度第3回)(遠藤委員)

#### ●イノベーション人材の発掘に係るプログラムの実施

社会に開かれた大学として、イノベーション人材を発掘するため、東京都との協定事業「創薬・医療データ科学イノベーション人材育成事業」の取組として「アントレプレナー育成プログラム」と「デジタルヘルス人材育成プログラム」を開講した。令和3年度は計96名が受講し、1,600万円余りの受講料収入を得ることができた。

(意見) 将来の日本の医学界をリードする人材を育成するために、リベラルアーツについても常に配慮していただきたい旨の発言があった。(平成30年度第3回)(山口委員)

#### ●リベラルアーツ教育の展開

本学における医療人としての倫理教育も含めた教養教育を充実させるため、令和4年度より、初年次教育を担当する教養部教員を全学的な教育を担う統合教育機構の所属とし、人文社会科学系のリベラルアーツ教育を高学年に至るまで展開することとした。